

研究課題名「局所再発直腸癌術後の予後因子に関する後方視的解析」に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年8月1日～2020年5月31日に、当院で直腸がん術後の骨盤内再発に対して手術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究の目的は、直腸がん術後の骨盤内再発に対する手術後の生存率に影響を与える因子を抽出する事です。あなたの治療中に行った採血や画像検査、ガン組織の遺伝子変異結果を利用して、検討を行います。

研究期間は、当院での実施承認日～2021年12月31日を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、元の直腸がんに関する情報（手術日、手術法、顕微鏡による検査結果など）、手術前後の抗がん剤治療や放射線治療の有無、採血結果（白血球数、血小板数、血中コレステロール、血中アルブミン、腫瘍マーカーなど）、CT検査結果、今回の手術に関する情報（手術日、手術法、手術時間、出血量、など）、顕微鏡による検査結果、予後（最終受診日、死亡日とその有無、再発確認日とその有無、局所再発確認日とその有無）、RAS（ラス）/BRAF（ビーラフ）遺伝子結果など。

RAS（ラス）/BRAF（ビーラフ）遺伝子は、進行再発大腸がんに対する抗がん剤治療の薬剤選択のため、現在は保険診療で通常に測定される検査です。あなたのガン組織内の遺伝子変異であり、身内の方に遺伝するような情報は含まれていません。RAS（ラス）遺伝子は2015年4月より、BRAF（ビーラフ）遺伝子は2018年8月より保険収載されています。それ以前に治療を終えられた方では測定していない場合があります。未測定の場合、あなたの過去の手術で切除した、ガン組織から一部を検査に提出し、遺伝子検査を行います。費用は研究費で賄うため、あなたに支払いが生じることはありません。

臨床的に検査が必要な場合には、保険診療で検査を行っています。今回の追加検査は、必要のない方に行う予定です。保険診療で行った記憶がなく、結果が知りたい場合には遠慮なく下記までお問い合わせください。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内

で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話番号：052-744-2222

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院消化器外科一 上原 圭